

リファンピシンカプセル 150mg「サンド」

【この薬は？】

販売名	リファンピシンカプセル 150mg「サンド」 Rifampicin Capsules 150mg [SANDOZ]
一般名	リファンピシン Rifampicin
含有量 (1カプセル中)	150mg (力価)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、抗生物質製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は細菌のRNA（リボ核酸）の合成に関わる酵素をおさえることで、細菌の増殖をおさえます。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

〈適応症〉

肺結核およびその他の結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症を含む非結核性抗酸菌症、ハンセン病

〈適応菌種〉

本剤に感性のマイコバクテリウム属

- ・ この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要

です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・胆道閉塞症または肝臓に重篤な障害のある人
- ・タダラフィル（アドシルカ）、マシテンタン、ペマフィブラート、チカグレロル、ボリコナゾール、HIV 感染症治療薬（インジナビル硫酸塩エタノール付加物、サキナビルメシル酸塩、ネルフィナビルメシル酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩、エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩、エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩）、テラプレビル、シメプレビルナトリウム、ダクラタスビル塩酸塩、アスナプレビル、ダクラタスビル塩酸塩・アスナプレビル・ベクラブビル塩酸塩、バニプレビル、ソホスブビル、レジパスビル アセトン付加物・ソホスブビル、グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル、テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル、エルバスビル、グラゾプレビル水和物、アメナメビル、アルテメテル・ルメファントリン又はプラジカンテルを使用している人
- ・過去にリファンピシンカプセル 150 mg「サンド」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・過去に過敏な反応を経験したことがある人
- ・この薬を間歇投与または投与を一時中止し再投与する人
- ・副腎皮質不全のある人
- ・慢性甲状腺炎のある人
- ・肝障害のある人、または過去に肝障害があった人

○この薬には併用してはいけない薬 [タダラフィル（アドシルカ）、マシテンタン（オプスミット）、ペマフィブラート（パルモディア）、チカグレロル（ブリリント）、ボリコナゾール（ブイフェンド）、HIV 感染症治療薬（インジナビル硫酸塩エタノール付加物（クリキシバン）、サキナビルメシル酸塩（インビラーゼ）、ネルフィナビルメシル酸塩（ビラセプト）、ホスアンプレナビルカルシウム水和物（レクシヴァ）、アタザナビル硫酸塩（レイアタッツ）、リルピビリン塩酸塩（エジュラント、コムプレラ）、エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩（スタリビルド）、エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩（ゲンボイヤ）、テラプレビル（テラビック）、シメプレビルナトリウム（ソブリアード）、ダクラタスビル塩酸塩（ダクルインザ）、アスナプレビル（スンベプラ）、ダクラタスビル塩酸塩・アスナプレビル・ベクラブビル塩酸塩（ジメンシー）、バニプレビル（バニヘップ）、ソホスブビル（ソバルディ）、レジパスビル アセトン付加物・ソホスブビル（ハーボニー）、グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル（マヴィレット）、テノホビル アラフェナミドフマル酸塩（ベムリディ）、オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル（ヴィ

キラックス)、エルバスビル (エレルサ)、グラゾプレビル水和物 (グラジナ)、アメナメビル (アメナリーフ)、アルテメテル・ルメファントリン (リアメット)、プラジカンテル (ビルトリシド) など] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔肺結核およびその他の結核症の場合〕

通常1回3カプセルを1日1回朝食前の空腹時に飲みます。

ただし、他に併用する抗結核薬がある場合は、1週間に2日だけ使用することがあります。

〔MAC 症を含む非結核性抗酸菌症〕

通常1回3カプセルを1日1回朝食前の空腹時に飲みます。

〔ハンセン病の場合〕

1回量	4カプセル	3カプセル
飲む回数	1ヵ月に1～2回、朝食前の空腹時	1日1回、朝食前の空腹時

他の抗ハンセン病剤といっしょに飲むことがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・他の抗結核薬と一緒に飲んでいる場合は、重篤な肝機能障害がおこることがあるので定期的に肝機能検査がおこなわれます。
- ・ハンセン病治療のために飲む場合は、飲み始める前に治療について十分理解できるまで説明を受けてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・尿、便、唾液、痰、汗、涙などが橙赤色になることがあります。また、コンタクトレンズが変色することがあります。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


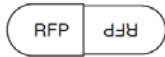
重大な副作用	主な自覚症状
劇症肝炎等の重篤な肝障害 げきしょうかんえんとうのじゅうとくなかんしょうがい	吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、判断力の低下、尿の色が濃くなる、頭痛、意識がなくなる、嘔吐、考えがまとまらない、発熱、意識の低下、羽ばたくような手のふるえ
ショック	めまい、頭痛、立ちくらみ
アナフィラキシー	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき
腎不全 じんふぜん	吐き気、むくみ、のどが渇く、貧血、無尿、頭痛、全身のけいれん、食欲不振、血圧上昇、尿量が減る
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	頭痛、からだのむくみ、関節の痛み、血尿、発熱
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	全身の著明なむくみ、尿量が減る
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	ふらつき、立ちくらみ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、疲れやすい、褐色尿、頭が重い、めまい、からだがだるい、動く時の動悸や息切れ
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血がとまりにくい
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんとうのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	嘔吐、下痢、頻回な下痢、むかむかする、腹痛、血が混ざった便、発熱
中毒性表皮壊死融解症(TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう(テン)	関節の痛み、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、からだがだるい、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンスジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ
扁平苔癬型皮疹 へんぺいたいせんがたひしん	紅～紫色のややもり上った平らな発疹
天疱瘡様および類天疱瘡様皮疹 てんぼうそうようおよびるいてんぼうそうようひしん	全身の激しいかゆみ、全身の皮膚や鼓膜に生ずる大小の水ぶくれ(水疱)、破れやすい水ぶくれ(水疱)、かゆみの激しい水疱

紅皮症（剥脱性皮膚炎） こうひしょう（はくだつせいひふえん）	発熱、からだがだるい、皮膚がはがれおちる、皮膚が赤くなる、食欲不振、かさぶた、全身の発赤
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	頭痛、息苦しい、発熱、から咳

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだがだるい、立ちくらみ、ふらつき、関節の痛み、むくみ、貧血、全身のけいれん、全身の著明なむくみ、疲れやすい、高熱、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、全身の激しいかゆみ
頭部	頭痛、考えがまとまらない、意識の低下、めまい、意識がなくなる、頭が重い
顔面	ほてり
眼	白目が黄色くなる、眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ
口や喉	嘔吐、吐き気、しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、のどが渇く、のどの痛み、歯ぐきの出血、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、から咳
胸部	吐き気、息苦しい、動悸、息切れ、動く時の動悸や息切れ、むかむかする
腹部	食欲不振、吐き気、膨れあがる感じ、むかむかする、腹痛、頻回な下痢
手・足	関節の痛み、羽ばたくような手のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる、かゆみ、発疹、じんましん、むくみ、あおあざができる、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、紅～紫色のややもり上った平らな発疹、全身の皮膚や鼓膜に生ずる大小の水ぶくれ(水疱)、破れやすい水ぶくれ(水疱)、かゆみの激しい水疱、皮膚がはがれおちる、皮膚が赤くなる、かさぶた、全身の発赤
便	血が混ざった便、下痢
尿	尿量が減る、尿の色が濃くなる、無尿、血尿、褐色尿
その他	判断力の低下、血圧上昇、出血しやすい、陰部の痛み

【この薬の形は？】

販売名	リファンピシнкаプセル 150mg 「サンド」
PTP シート	
形状	
重さ	230mg
色	キャップ：赤色不透明 ボディ：だいだい色不透明
識別コード (PTP)	RFP

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	日局 リファンピシン
添加物	乳糖水和物、結晶セルロース、カルメロース、デンプングリコール酸ナトリウム、タルク、ステアリン酸マグネシウム カプセル：ゼラチン、ラウリル硫酸ナトリウム、赤色3号、黄色5号、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：サンド株式会社 (<http://www.sandoz.jp/>)

販売会社：ニプロ株式会社 (<http://www.nipro.co.jp/>)
医薬品情報室 0120-226-898